

ロシア 東欧 経済速報

(社)ロシア東欧貿易会

2004年(平成16年)10月15日号 No.1309

目次

● プーチンの「9月革命」	ロシア東欧経済研究所	1
- ロシアにおける中央・地方関係の新展開 -		
● キーパーソン		7
マガダン市長選挙でペチョーヌイ第1副市長が当選 / 7		
● エトセトラ		7
『調査月報』2004年11月号のお知らせ / 7		
『ビジネスガイド ロシア』刊行のお知らせ / 8		
冬期のフライトスケジュール / 8		
第5回日露国際シンポジウムのお知らせ / 8		
● ロシア東欧貿易会関連の行事予定		9
● CIS・中東欧諸国通貨の為替レート		9

プーチンの「9月革命」 - ロシアにおける中央・地方関係の新展開 -

はじめに

9月13日、プーチン大統領は、連邦構成主体の首長も参加した拡大政府閣議の中で、連邦構成主体首長の選出方法を住民による直接選挙から大統領による任命制(大統領推薦にもとづく地方議会選出)に変更すると発表した。大統領による知事任命制は、プーチン政権が発足当初から進めてきた地方統制政策の集大成となるもの。旅客機墜落から北オセチア共和国での学校占拠事件の一連のテロ事件を受けてのテロ対策を口実として、一気に着手した形だ。

こうした強権政策に対し、“反テロリズム”を標榜するプッシュミ大統領は、「民主主義を妨害する決断」との憂慮の念を表明。欧米諸国も、プーチン政権の「テロとの戦い」には理解を示す一方、強権発動に対しては懸念を強めている。一方、国内はというと、与党や現職知事がいっせいに支持を表明(野党の共産党、ヤブロコ、右派勢力連合は憲法違反だとして非難)、一般市民